

2025年 3月期 決算説明会

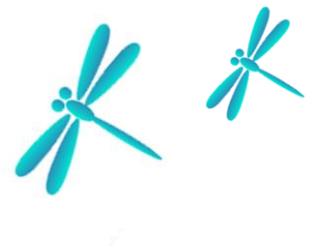
本資料に掲載されている現在の計画、見通しなどのうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しでありこれらは現在入手可能な情報から得られたデータを会社の判断に基づいて示しております。
従って、実際の業績は様々な要因により、これら業績の見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おきください。

2025年 5月 14日



ニチアス株式会社

< 1 >
2025年 3月期
決算概要



◇ 25/3期 決算の要点

(単位：億円)

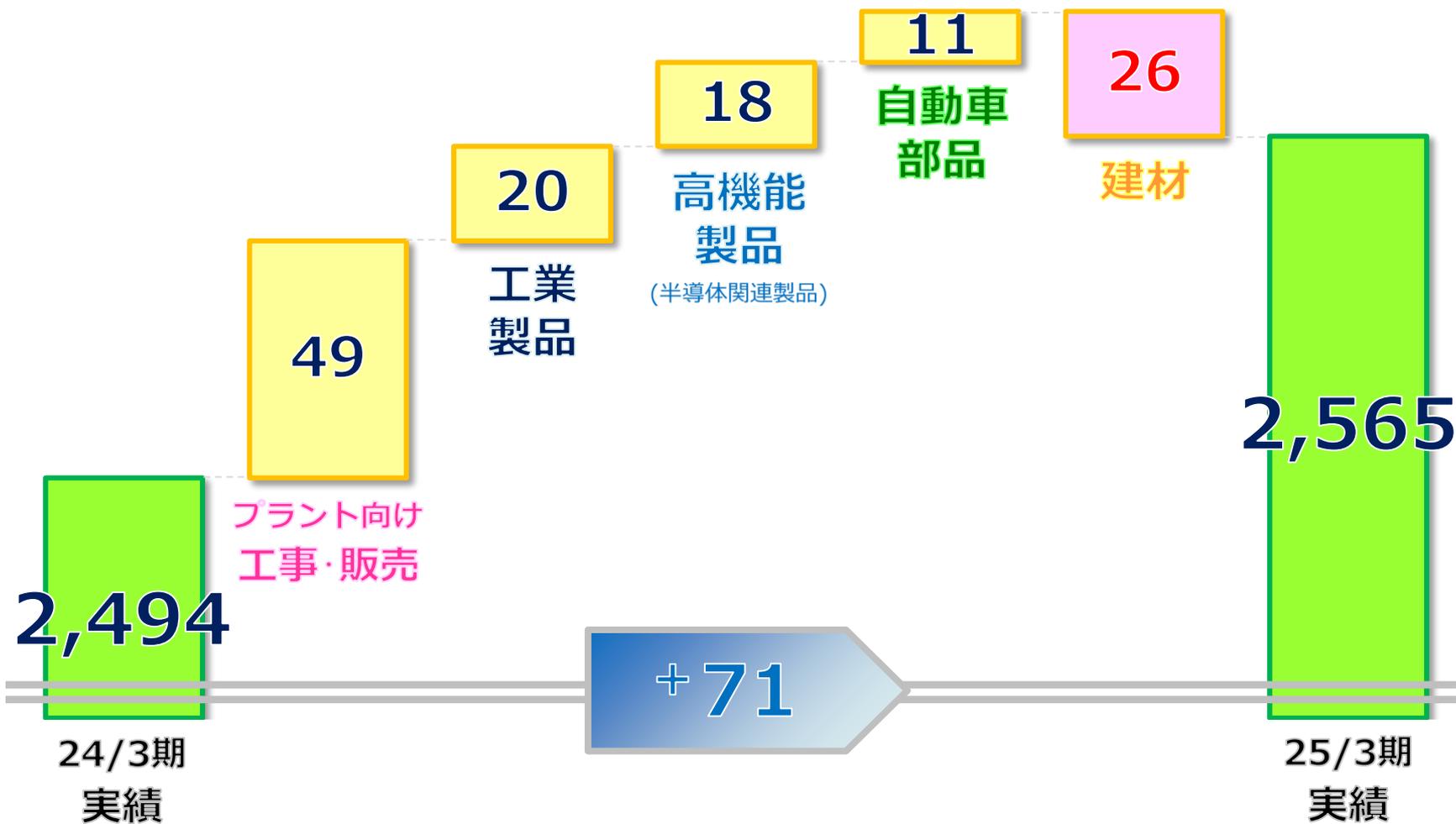
	24/3期	25/3期		増減率	
	実績	2/6 予想	実績	前期比	予想比
売上高	2,494	2,530	2,565	2.9%	1.4%
営業利益	352 14.1%	395 15.6%	397 15.5%	12.8%	0.6%
経常利益	388 15.6%	425 16.8%	417 16.3%	7.5%	▲ 1.9%
特別利益	2	—	52	2,237.5%	—
特別損失	7	—	15	133.6%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	270 10.8%	293 11.6%	321 12.5%	19.0%	9.4%

プラント向け工事・販売が全社を牽引

4期連続で
過去最高の業績更新

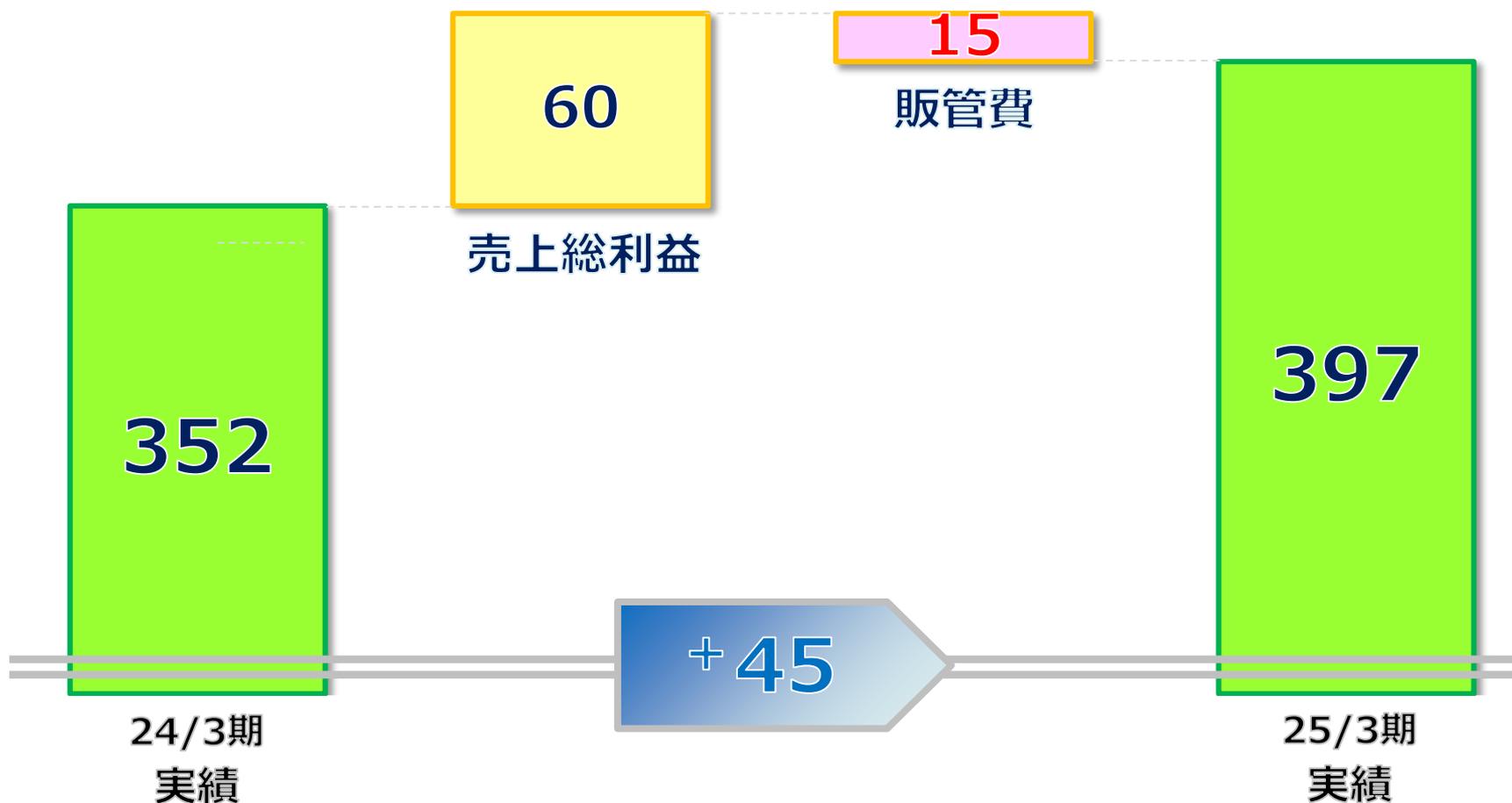
◇ 25/3期 売上高 増減要因

単位：億円



◇ 25/3期 営業利益 増減要因

単位：億円

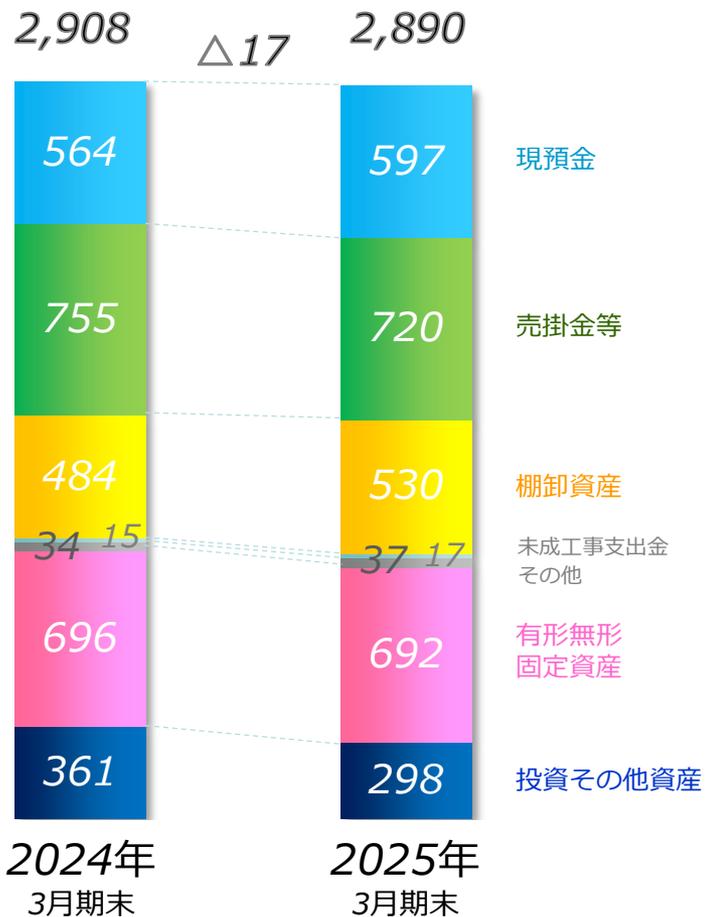


◇ 25/3期 セグメント別業績

(単位：億円)

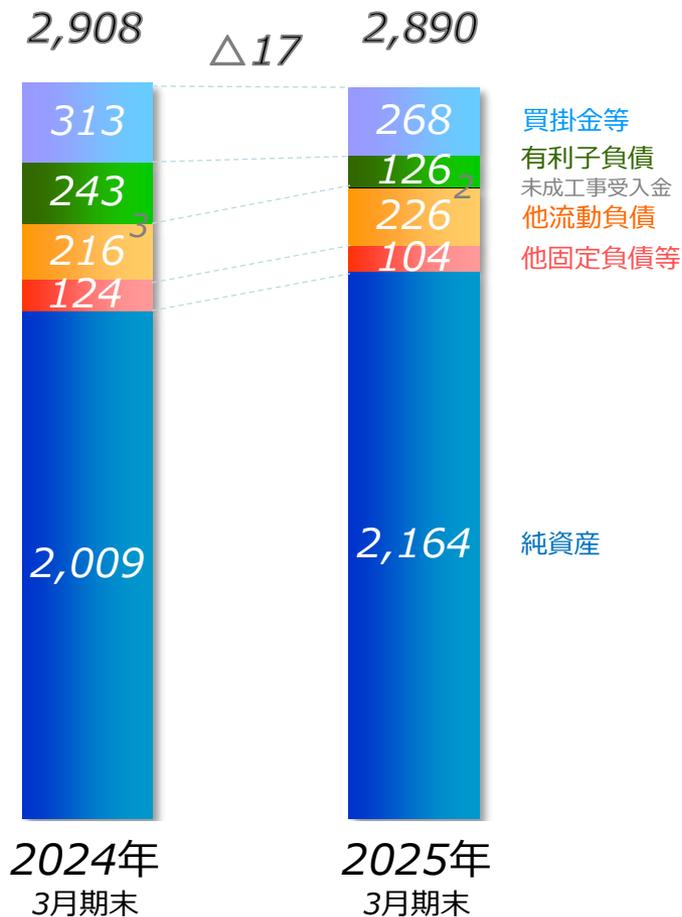
セグメント		24/3期	25/3期		増減率	
		実績	2/6予想	実績	前期比	予想比
プラント向け 工事・販売	売上高	735	735	785	6.7%	6.7%
	営業利益	106 14.4%	108 14.7%	125 15.9%	18.2%	15.8%
工業製品	売上高	512	550	532	3.9%	▲3.3%
	営業利益	105 20.5%	122 22.2%	111 20.8%	5.4%	▲9.4%
高機能製品 (半導体関連製品)	売上高	428	455	446	4.1%	▲2.0%
	営業利益	96 22.5%	105 23.1%	102 22.9%	6.2%	▲2.6%
自動車部品	売上高	501	505	512	2.1%	1.4%
	営業利益	38 7.5%	45 8.9%	45 8.9%	20.4%	0.9%
建材	売上高	317	285	291	▲8.2%	2.1%
	営業利益	7 2.3%	15 5.3%	14 4.8%	91.4%	▲6.4%
計	売上高	2,494	2,530	2,565	2.9%	1.4%
	営業利益	352 14.1%	395 15.6%	397 15.5%	12.8%	0.6%

資産残高



負債・純資産残高

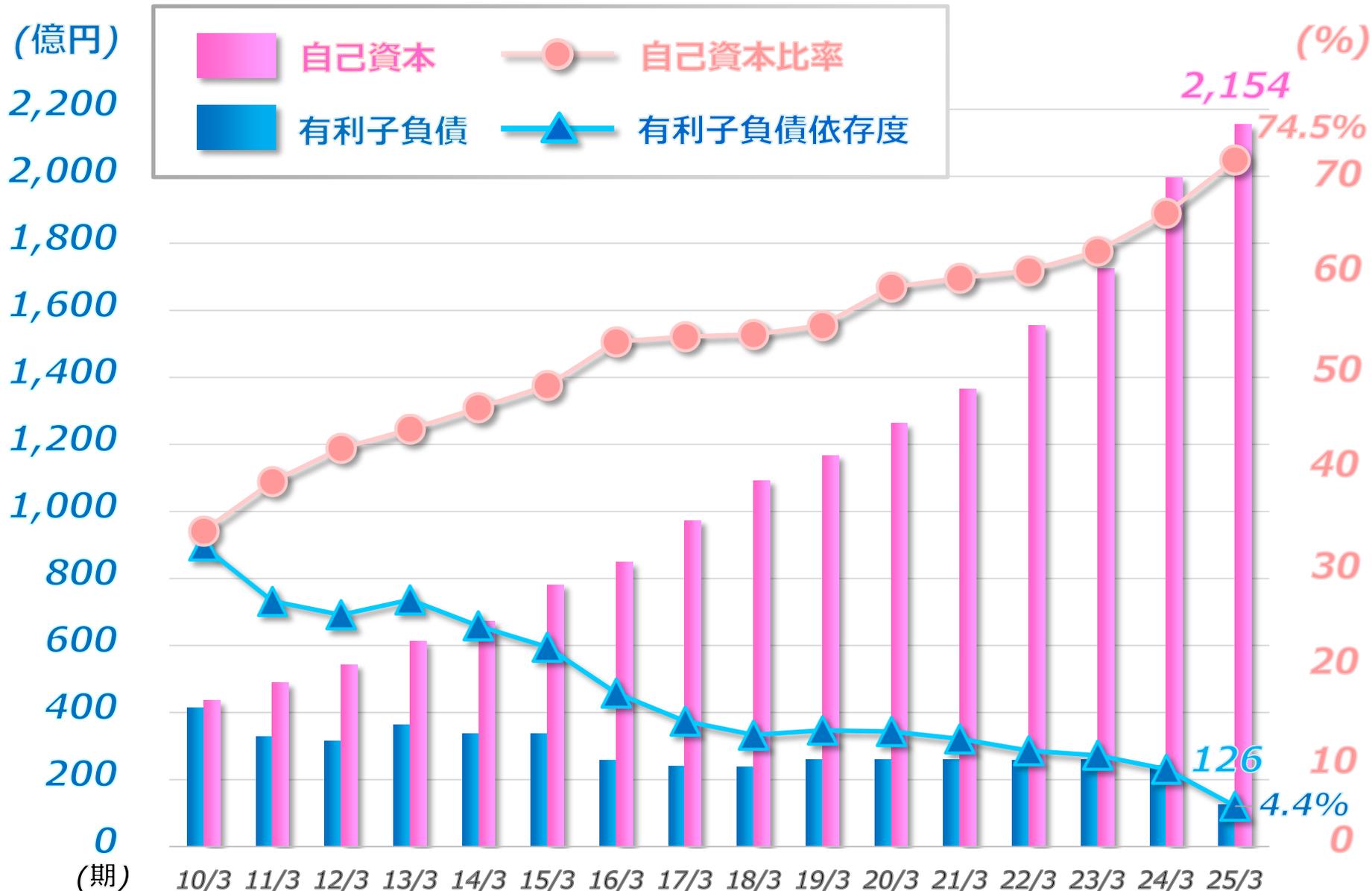
(単位：億円)



自己資本比率

68.7% ➤ 74.5%

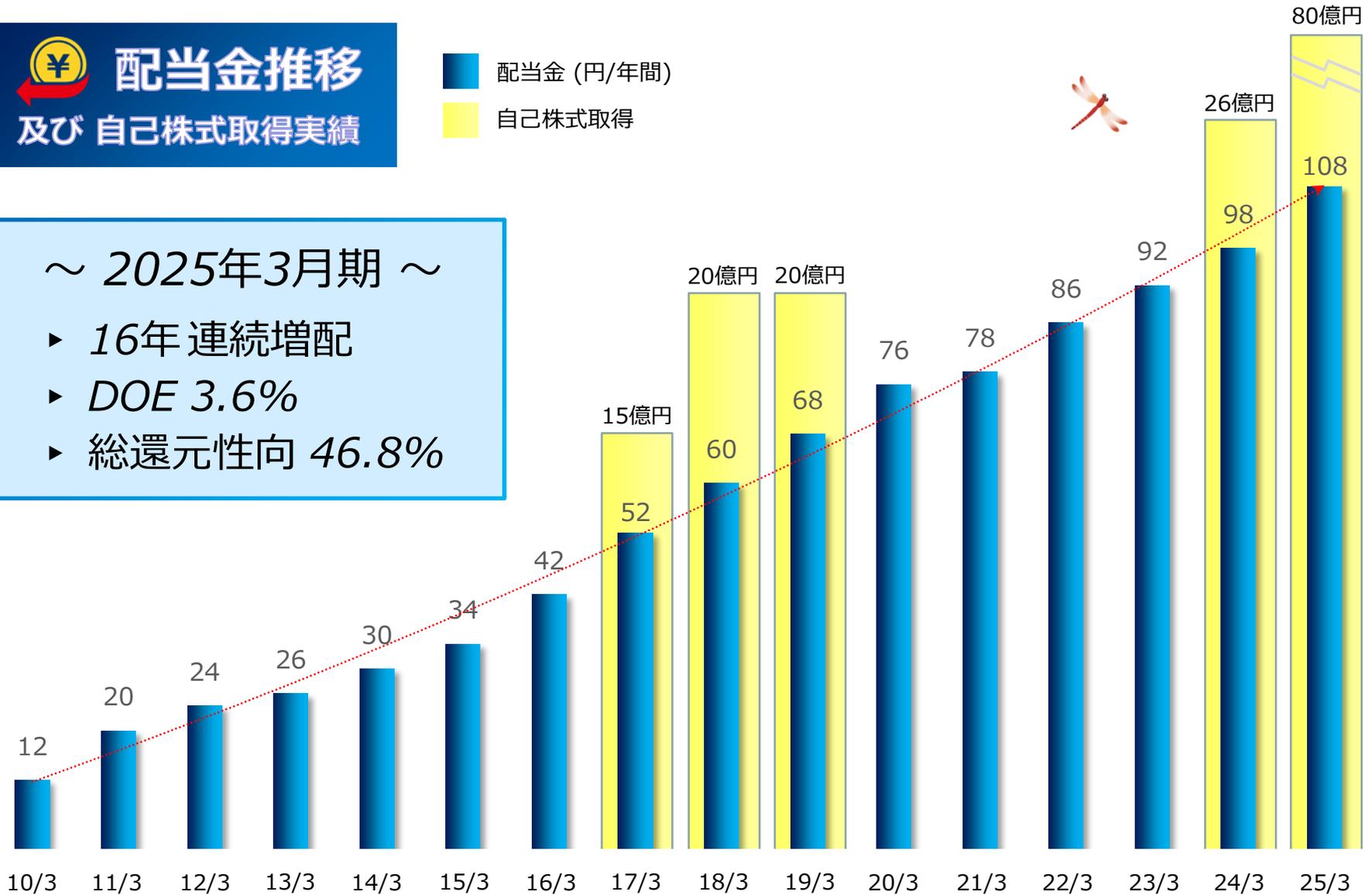
◇ 有利子負債と自己資本の推移




配当金推移
 及び 自己株式取得実績

 配当金 (円/年間)
 自己株式取得

～ 2025年3月期 ～
 ▶ 16年連続増配
 ▶ DOE 3.6%
 ▶ 総還元性向 46.8%



AA

A⁺

A

A⁻

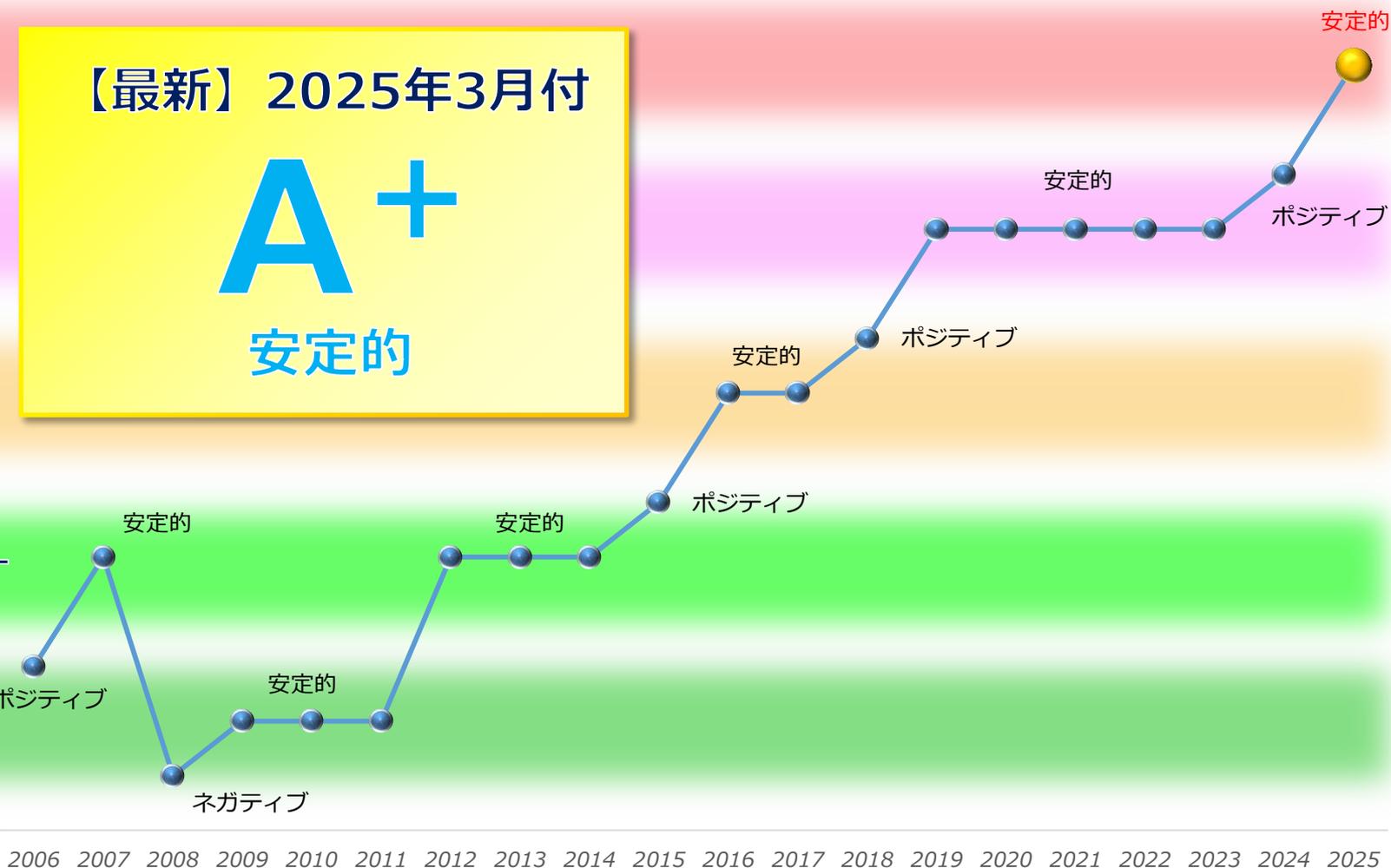
BBB⁺

BBB

【最新】2025年3月付

A⁺

安定的



AAA

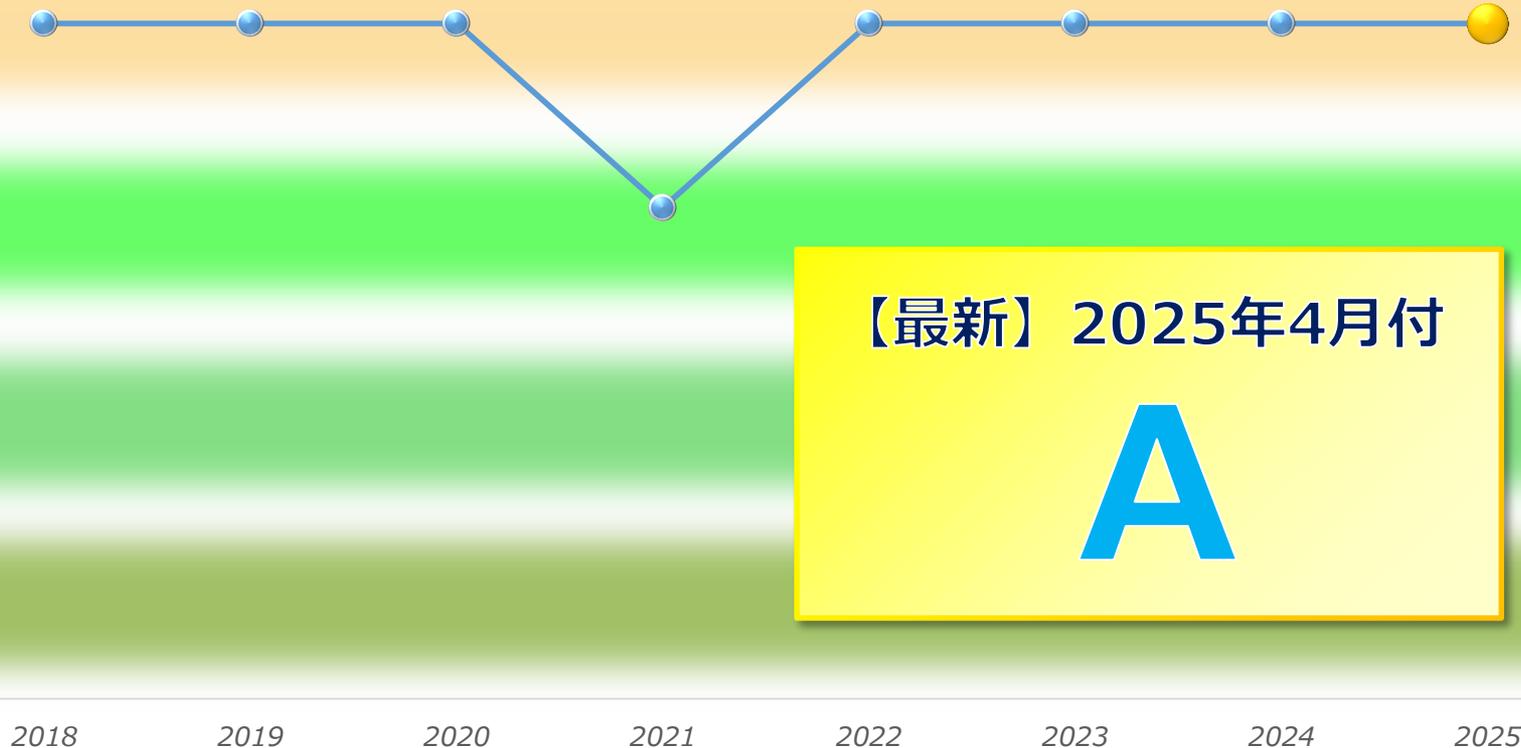
AA

A

BBB

BB

B



【最新】 2025年4月付

A



FTSE
All World

**日経
連続増配
株指数**

MSCI
日本株ESG
セレクトリーダーズ

Morningstar
日本株式
ジェンダー
ダイバーシティ
ティルト指数

**TOPIX
500**

**JPX
日経400**

**野村
RAFI**

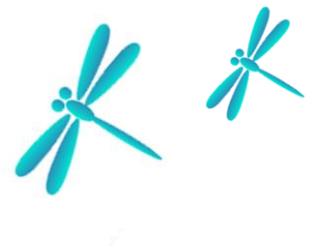
**Russell
Nomura
Prime**

S&P/JPX
カーボン
エフィシエント

SOMPO
サステナビリティ
インデックス

< 2-1 >

2026年3月期の見通し



セグメント	25/3期 【結果】	26/3期 (年間) 【予想】
プラント向け 工事・販売		
工業製品		
高機能製品 (半導体関連製品)		
自動車部品		
建材		

◇ 26/3期 業績予想

(単位：億円)

	24/3期	25/3期	26/3期			増減率
	実績	実績	上期 予想	下期 予想	通期 予想	前期比
売上高	2,494	2,565	1,230	1,340	2,570	—
営業利益	352 14.1%	397 15.5%	165 13.4%	205 15.3%	370 14.4%	▲6.9%
経常利益	388 15.6%	417 16.3%	165 13.4%	205 15.3%	370 14.4%	▲11.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	270 10.8%	321 12.5%	115 9.3%	145 10.8%	260 10.1%	▲18.9%



不透明感が増す中 概ね前年同水準を予想

(新基幹システム構築費用30億円を含んだ利益計画)

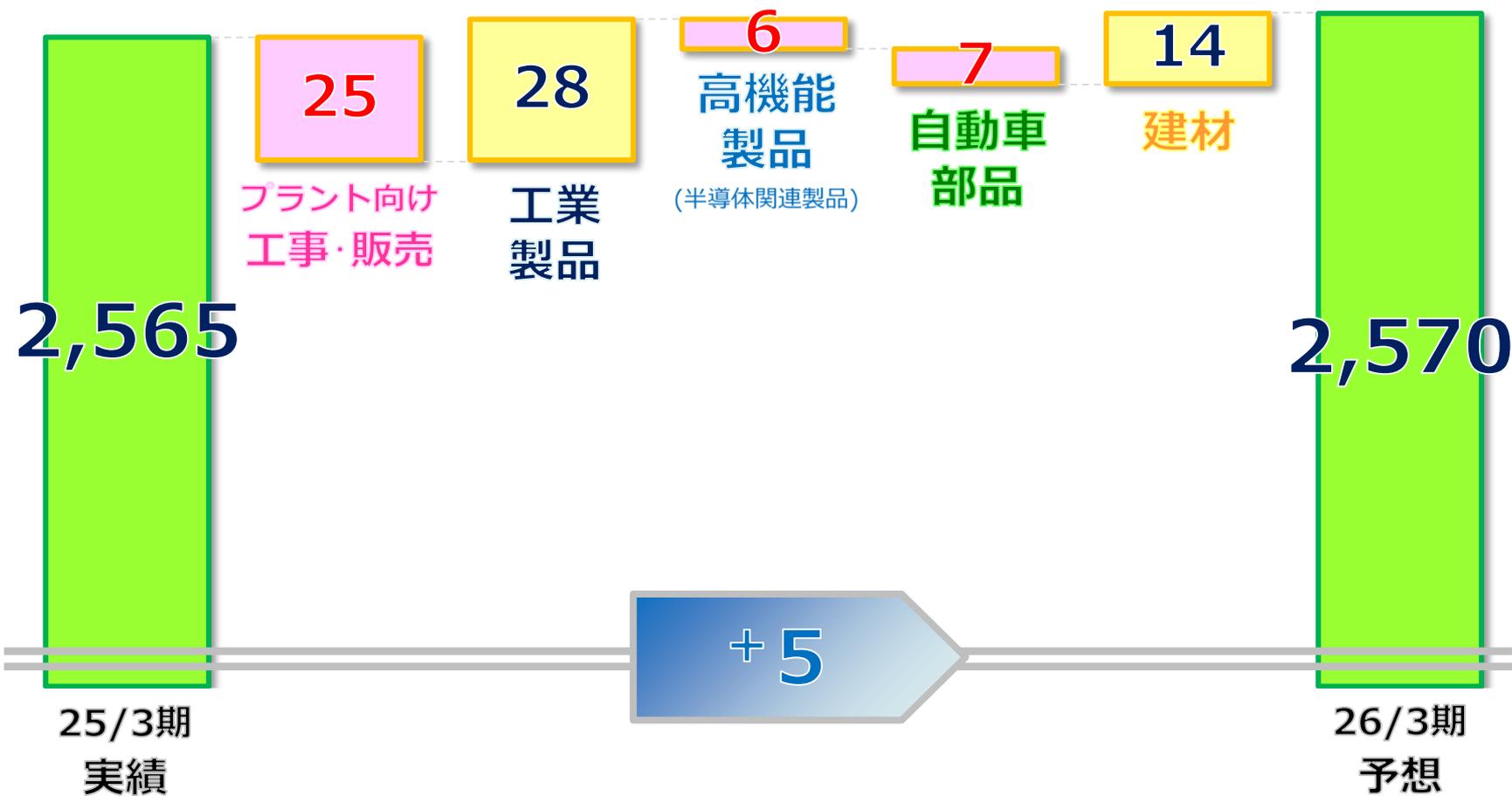
◇ セグメント別 業績推移

(単位：億円)

セグメント		22/3期 実績	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 予想	増減率 前期比
プラント向け 工事・販売	売上高	590	652	735	785	760	▲3.1%
	営業利益	62 10.5%	84 12.9%	106 14.4%	125 15.9%	105 13.8%	▲16.0%
工業製品	売上高	479	516	512	532	560	5.3%
	営業利益	80 16.8%	90 17.4%	105 20.5%	111 20.8%	115 20.5%	4.1%
高機能製品 (半導体関連製品)	売上高	360	452	428	446	440	▲1.3%
	営業利益	79 22.0%	110 24.3%	96 22.5%	102 22.9%	93 21.1%	▲9.1%
自動車部品	売上高	447	468	501	512	505	▲1.4%
	営業利益	40 9.0%	25 5.3%	38 7.5%	45 8.9%	42 8.3%	▲7.5%
建材	売上高	287	294	317	291	305	4.8%
	営業利益	1 0.4%	▲9 ▲3.0%	7 2.3%	14 4.8%	15 4.9%	6.8%
計	売上高	2,162	2,381	2,494	2,565	2,570	0.2%
	営業利益	263 12.1%	300 12.6%	352 14.1%	397 15.5%	370 14.4%	▲6.9%

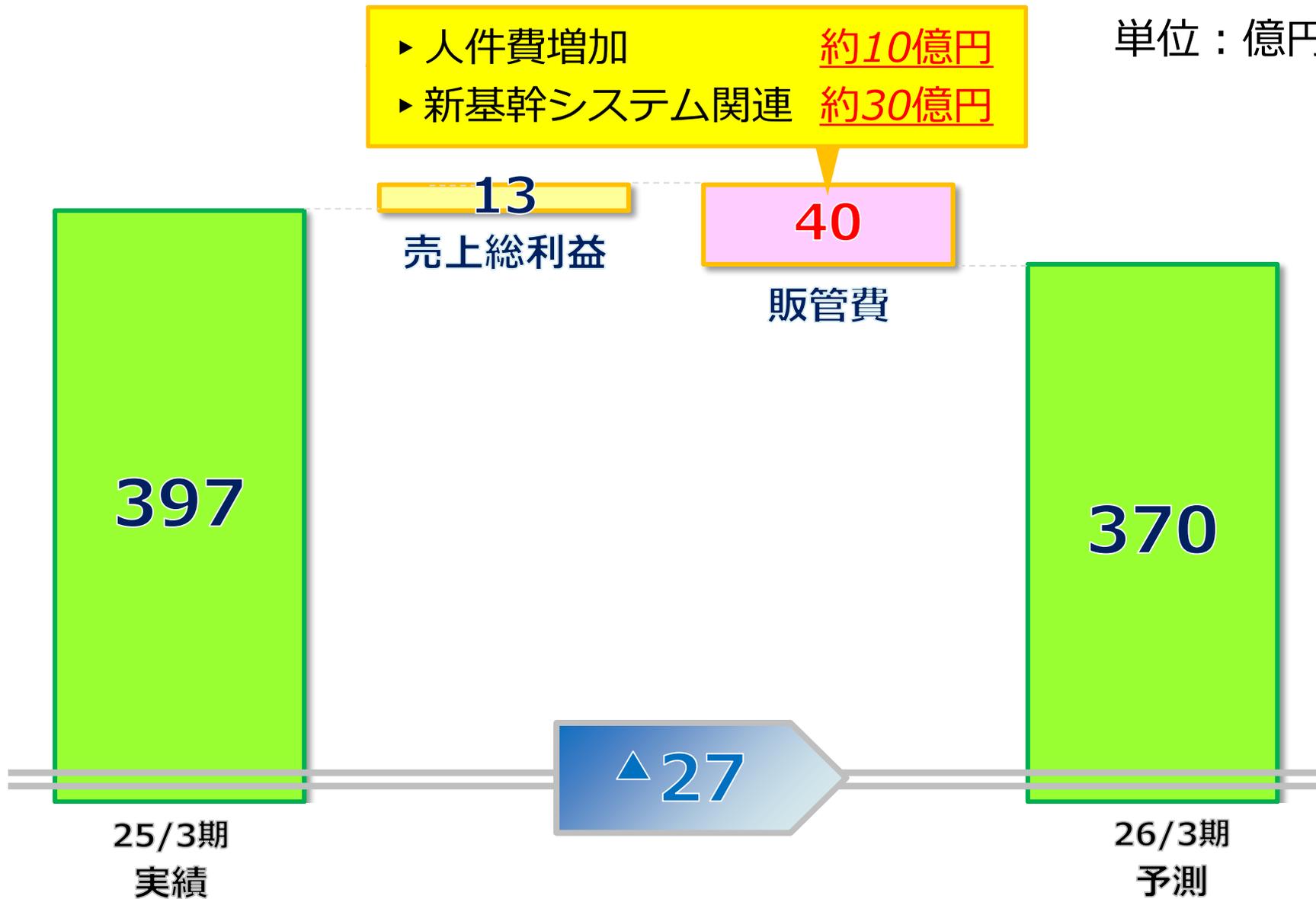
◇ 26/3期 売上高 増減要因

単位：億円



◇ 26/3期 営業利益 増減要因

単位：億円



2026/3期
年間配当金

152円

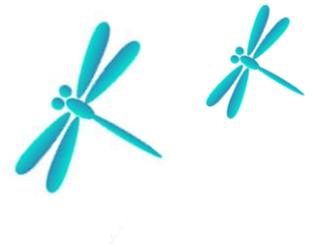
(予想)

(2025/3期の年間配当金は1株あたり108円)

- ※ 上記のほか自己株式取得(上限30億円)も実施
- ※ 総還元性向については **50%以上** とします

< 2-2 >

し く み
13  中期経営計画について
(2023年3月期～2027年3月期)



現中期経営計画「しくみ・130」

1st ステージ

2nd ステージ

前中計
17/3期～22/3期

23/3期
1年目

24/3期
2年目

25/3期
3年目

26/3期
4年目

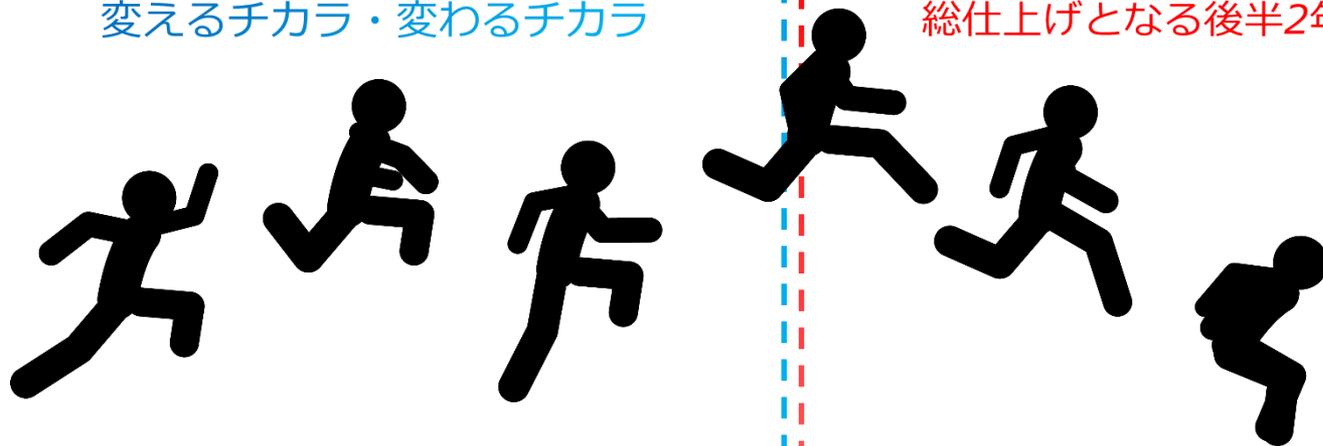
27/3期
5年目

変えるチカラ・変わるチカラ

総仕上げとなる後半2年

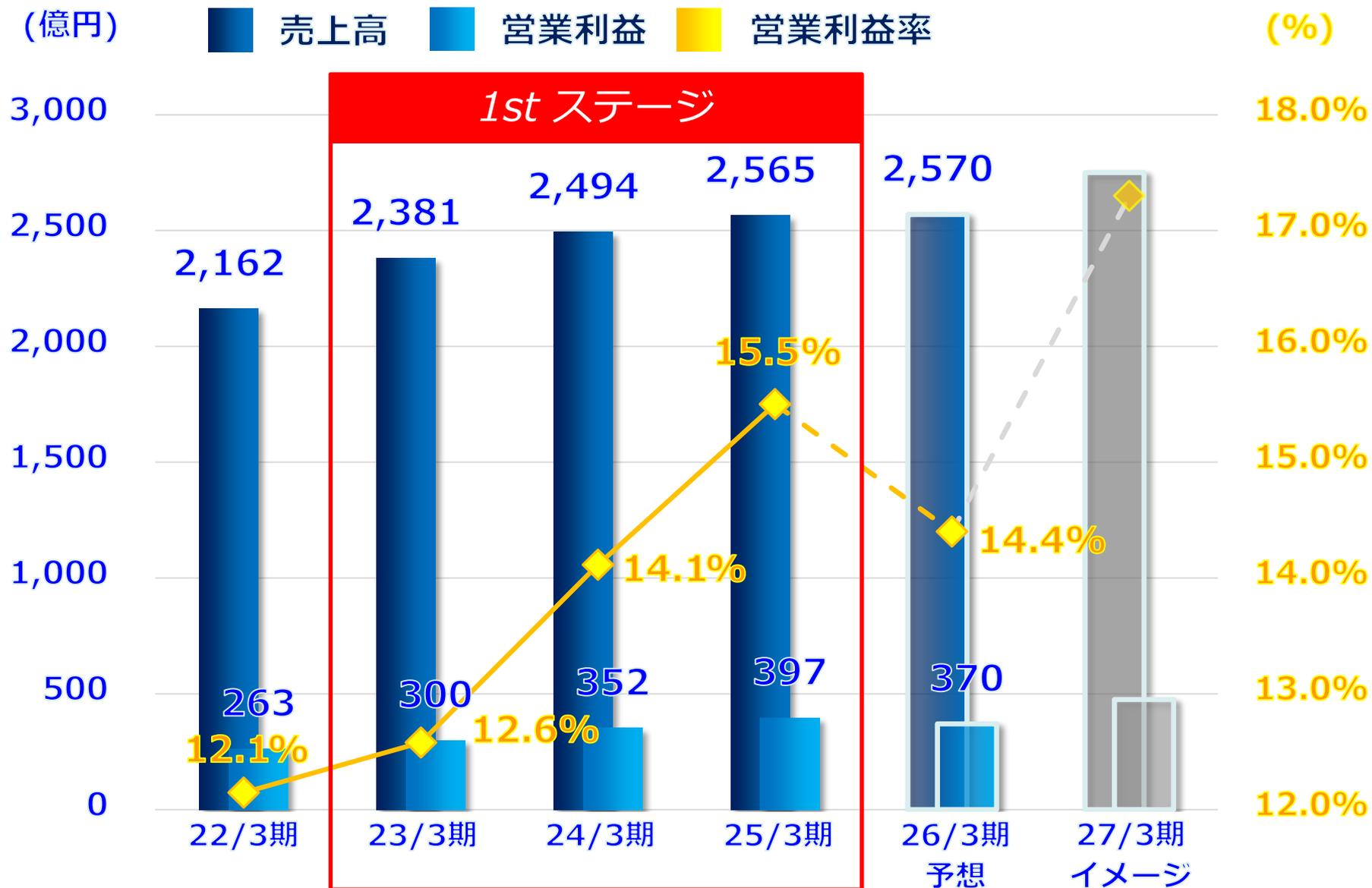
ものづくり

ひとづくり



変化に適応するための
しくみづくり

◇ 1stステージ振返り (業績推移)



働きやすい明るい会社

ニチアス「幸せ」価値指数 (NGI)

【24/3期】74.6点 ▶ 【27/3期】目標 80点以上

【年輪経営】 持続的成長

収益性の向上
(稼ぐ力を高める)

ビジネスモデル
深化

俊敏性と
利益へのこだわり

営業利益率
15%以上

(NPI)

事業の
選択と集中

ポートフォリオを
意識した事業戦略

資源の有効配分
投資の最適化

設備投資
5年総額 600億円
※ ROICを意識した投資

(NPI)

効率的運営

業務効率
生産性向上

デジタル技術
活用・推進
ヒューマンリソース
低減

総実労働時間
目標遵守率 100%
※ 将来目標は別途検討にて

(NPI)

環境対応

カーボン
ニュートラルの推進
環境負荷低減

内部 自社の排出削減
外部 ビジネス機会
創出・拡大
環境に配慮した
製品開発

[内部] GHG排出削減量
△42% (2021年比)
[外部] GHG排出削減貢献量
△40万t (2026年)

(NPI)

基盤強化

安全最優先
品質向上

安全・安心・安定
3Aを基本とした
制度拡充
ボトムアップ

重大クレーム発生 ゼロ
労働災害度数率
(国内) 0.5以下 (海外) 1.2以下

(NPI)

※NGI：ニチアス版「KGI」

※NPI：ニチアス版「KPI」

5つの重要課題 (NPI) 評価項目 			23/3期	24/3期	25/3期
収益性の向上	営業利益率	%	12.6%	14.1%	15.5%
事業の 選択と集中	設備投資額	億円	101億円	111億円	68億円
	ROIC	%	11.3%	11.6%	12.2%
効率的運営	総実労働時間 遵守率	%	99.9%	99.3%	99.5%
	総実労働時間 (全社平均)	時間	1,924時間	1,925時間	1,921時間
環境対応	GHG排出量	万t	23.2万t	22.8万t	18.2万t
	顧客のGHG排出削減貢献量	万t	26.0万t	24.0万t	24.7万t
基盤強化	労働災害度数率 (国内製造)		0.45	0.54	0.14
	労働災害度数率 (海外製造)		1.70	1.34	0.76
	重大クレーム発生 ゼロ	件	0	1	3

事業の 選択

建材セグメントの不採算事業であった
住宅用断熱材分野からの撤退完了



住宅用ロックウール(君津ロックウール社)の生産終了

収益性

成長性



環境



継続判断

事業の 集中

中長期的に成長が見込まれる
半導体分野の高機能製品セグメントに投資注力



福島ニチアス 第8工場



王寺工場 新3号棟



鶴見工場 厚生/物流棟 (建設中)

(このほか袋井工場, 羽島工場にも能力増強およびBCP対応の設備投資を展開)

現中計期間において

生産能力 600億円 体制構築 (現状進捗…約80%)

短期目線ではなく、中長期的な視点での成長投資

ニチアスグループ カーボンニュートラル宣言 (2024年4月 改訂)

パリ協定が定める1.5°C目標へチャレンジ



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

2025年3月にSBT認定取得

2021年度 トライアル
スコア … 67.1点

2022年度 スコア … 69.8点

2023年度 スコア … 74.6点

2024年度 スコア … 統合報告書2025
9/下旬開示予定

※ 従業員とその家族へのエンゲージメント向上が継続課題

企業理念 【ニチアス理念】

ニチアスは「断つ・保つ」の技術で地球の明るい未来に貢献します

スローガン

「断つ・保つ」で明るい未来へ

New

私たちの約束 【思考/行動】

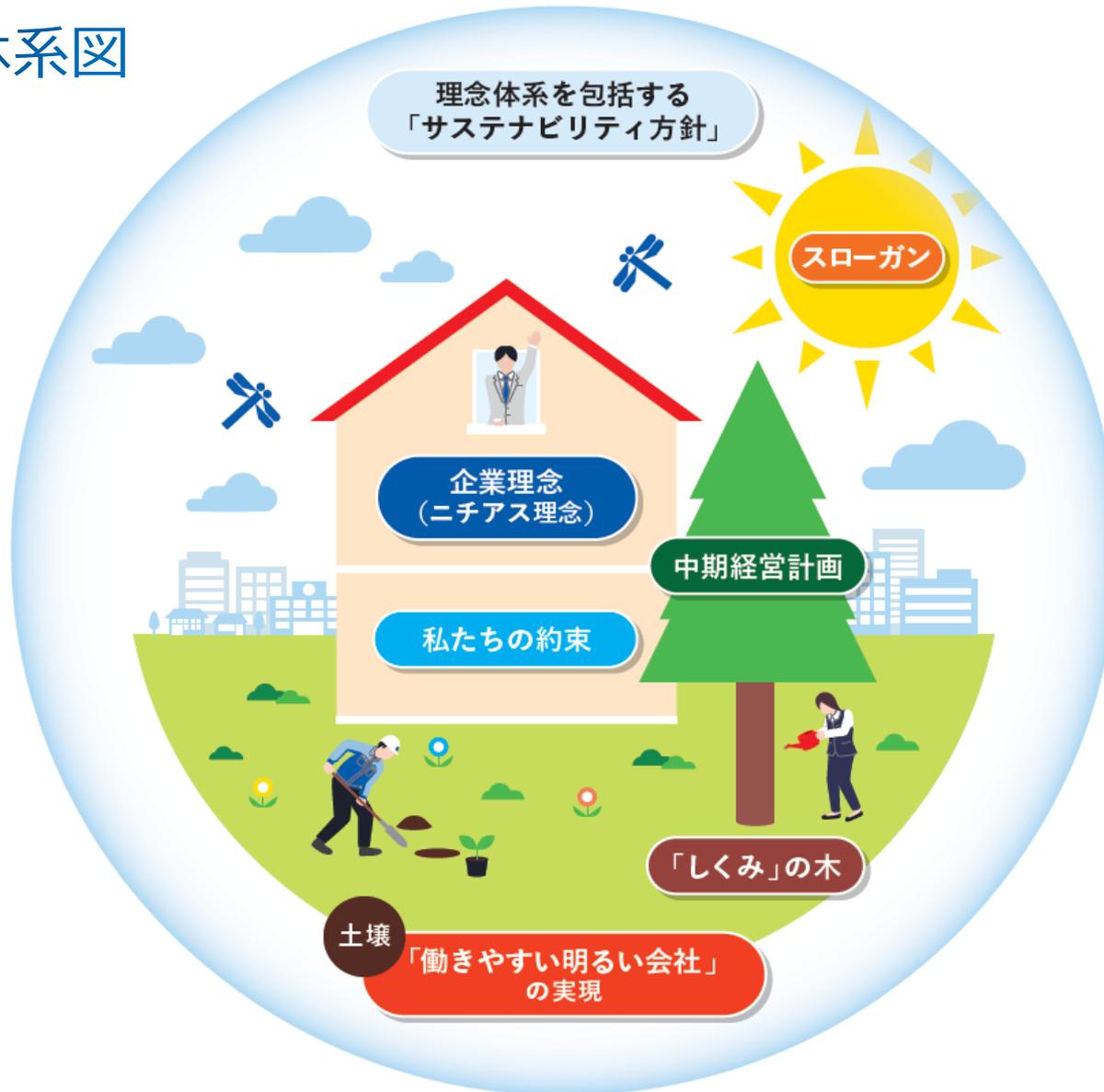
-  仲間とともに、社会に役立つ価値を提供します
-  社会の一員であることを自覚し、責任ある行動を取ります
-  「ありがとう」と「笑顔」があふれる信頼の輪を築きます
-  スキルや知識を高め、従業員と会社がともに成長します

New

サステナビリティ 方針

ニチアスグループは企業理念の実践を通してグループの持続的な成長と持続可能な社会の実現を目指します

理念体系図



働きやすい明るい会社 の実現



従業員が活躍できる職場環境が実現できてこそ、業績向上とサステイナブルな未来が望める

働きやすい明るい会社

ニチアス「幸せ」価値指数 (NGI)
 【24/3期】74.6点 ▶ 【27/3期】目標 80点以上

【年輪経営】 持続的成長

収益性の向上
 (稼ぐ力を高める)

事業の
 選択と集中

効率的運営

環境対応

基盤強化

ビジネスモデル
 深化

俊敏性と
 利益へのこだわり

ポートフォリオを
 意識した事業戦略

資源の有効配分
 投資の最適化

セグ別ROICの開示展開

業務効率
 生産性向上

カーボン
 ニュートラルの推進
 環境負荷低減

安全最優先
 品質向上

デジタル技術
 活用・推進

ヒューマンリソース
 低減

内部 自社の排出削減
 外部 ビジネス機会
 創出・拡大
 環境に配慮した
 製品開発

安全・安心・安定

3Aを基本とした
 制度拡充
 ボトムアップ

営業利益率
 18%

※ 新基幹システム関連経費を
 除いた利益率

従来の設備投資に加え
 戦略投資枠
 2年総額 290億円

総実労働時間
 目標遵守率 100%

※ 会議時間削減と
 デジタル効果の可視化

従来のGHG排出削減に加え
 CDP「A」格取得
 自然資本の取組み強化

重大クレーム発生 ゼロ
 労働災害全度数率

(国内製造) 2.0 (海外製造) 1.5
 (基幹工事) 0.5 (建材工事) 2.0

(NPI)

(NPI)

(NPI)

(NPI)

(NPI)

※NGI：ニチアス版「KGI」

※NPI：ニチアス版「KPI」

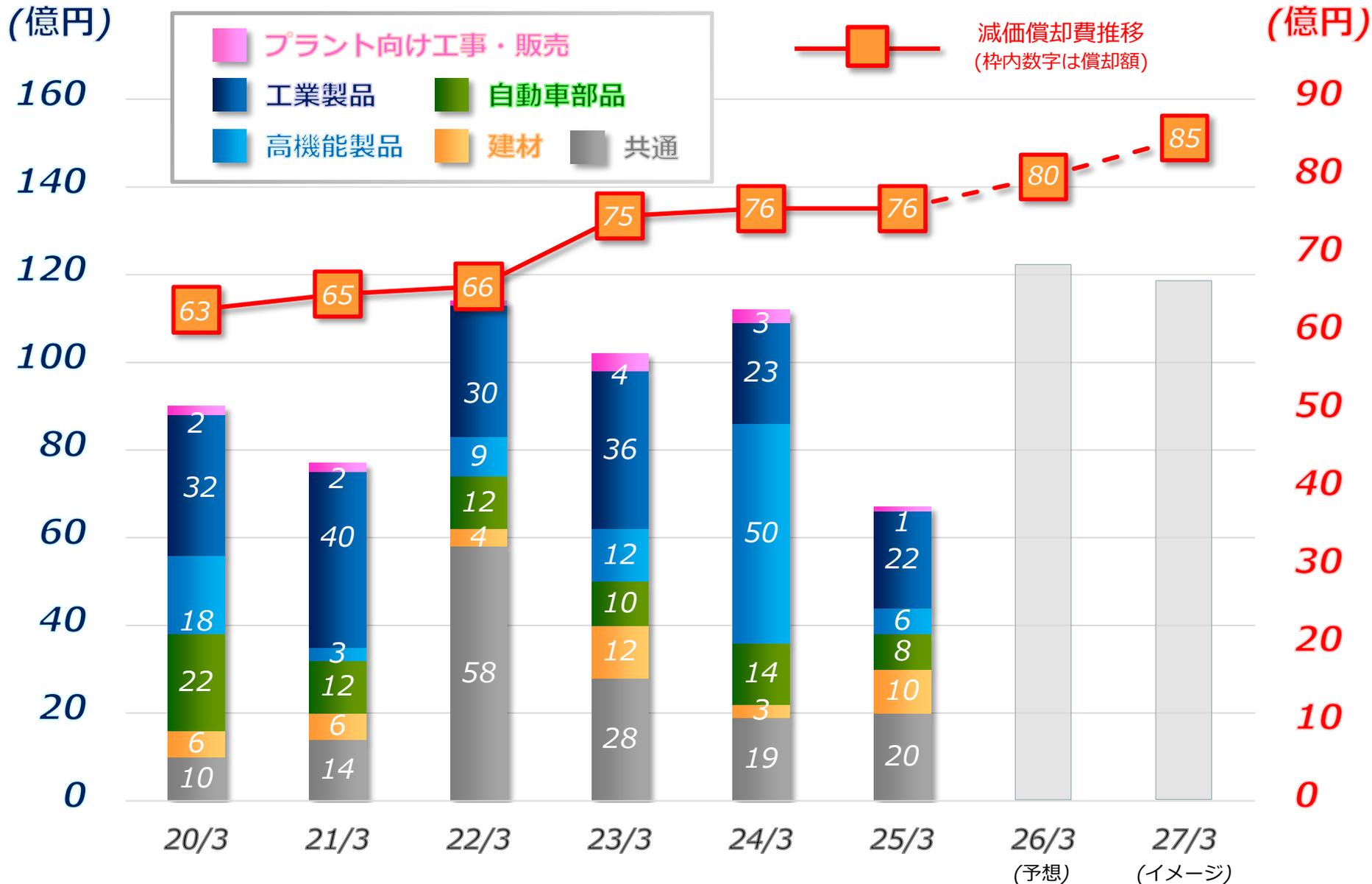
	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 目標	27/3期 イメージ
期間	1st ステージ (前半3カ年)			2nd ステージ (後半2カ年)	
売上高 (億円)	2,381	2,494	2,565	2,570	2,750
海外売上高 (億円)	451	468	530	550	580
営業利益率 (%)	12.6%	14.1%	15.5%	14.4% ※1 (15.6%)	17.3% ※1 (18.0%)
設備投資額 (億円)	101	111	68	<div data-bbox="1335 1153 1535 1239">通常投資総額 2年総額(目安) : 240億円</div> <div data-bbox="1335 1246 1535 1318">戦略投資枠 2年総額(目安) : 290億円</div>	

※1 : 営業利益率の(%)は、新基幹システム関連経費を含まない場合の値

	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 目標	27/3期 イメージ
期間	1st ステージ (前半3カ年)			2nd ステージ (後半2カ年)	
ROE 自己資本利益率 (%)	13.1%	14.5%	15.5%		15.0% 以上
ROIC 投下資本利益率 (%)	11.3%	11.6%	12.2%		14.0%
EBITDA 金利・税金・償却前利益 (億円)	374	428	474		550

	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 目標	27/3期 イメージ
期間	1st ステージ (前半3カ年)			2nd ステージ (後半2カ年)	
手元流動性 (月数)	3.0カ月	2.7カ月	2.7カ月		1.5 ~ 2.0カ月 ※ 2
自己資本比率 (%)	64.6%	68.7%	74.5%	[2ndステージ] 現状水準より高めない [次中計終了時イメージ] 60%程度を目安にマネジメント	
政策保有株式 純資産比率 (%)	10.1%	11.1%	6.4%	[2ndステージ] 適宜縮減 [次中計終了時イメージ] ゼロ (成長投資/株主還元へ活用)	

※2 : 投資とのバランス次第では必要に応じて資金調達も検討



新基幹システム構築 プロジェクト

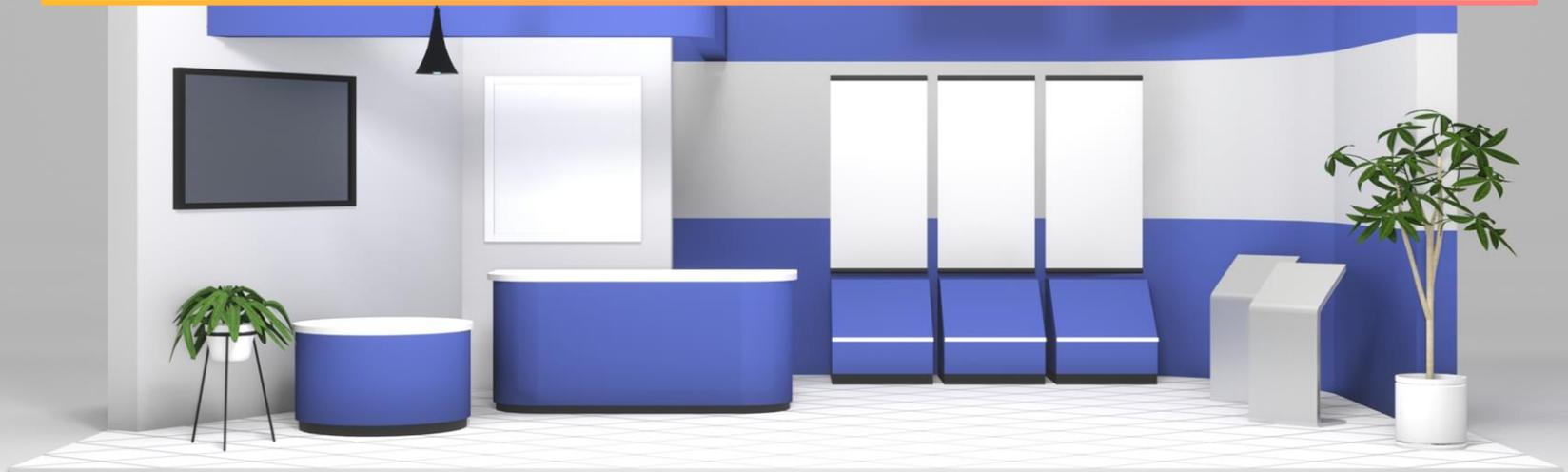
2026年10月より運用開始に向けて

- ▶ 経営の意思決定プロセス迅速化
- ▶ 業務の標準化・集約化・リスクマネジメント対応

通称) NXプロジェクト

次世代ショールーム

2026年4月オープンに向けプロジェクト進行中
(ニチアス本社5Fフロアをリニューアル予定)

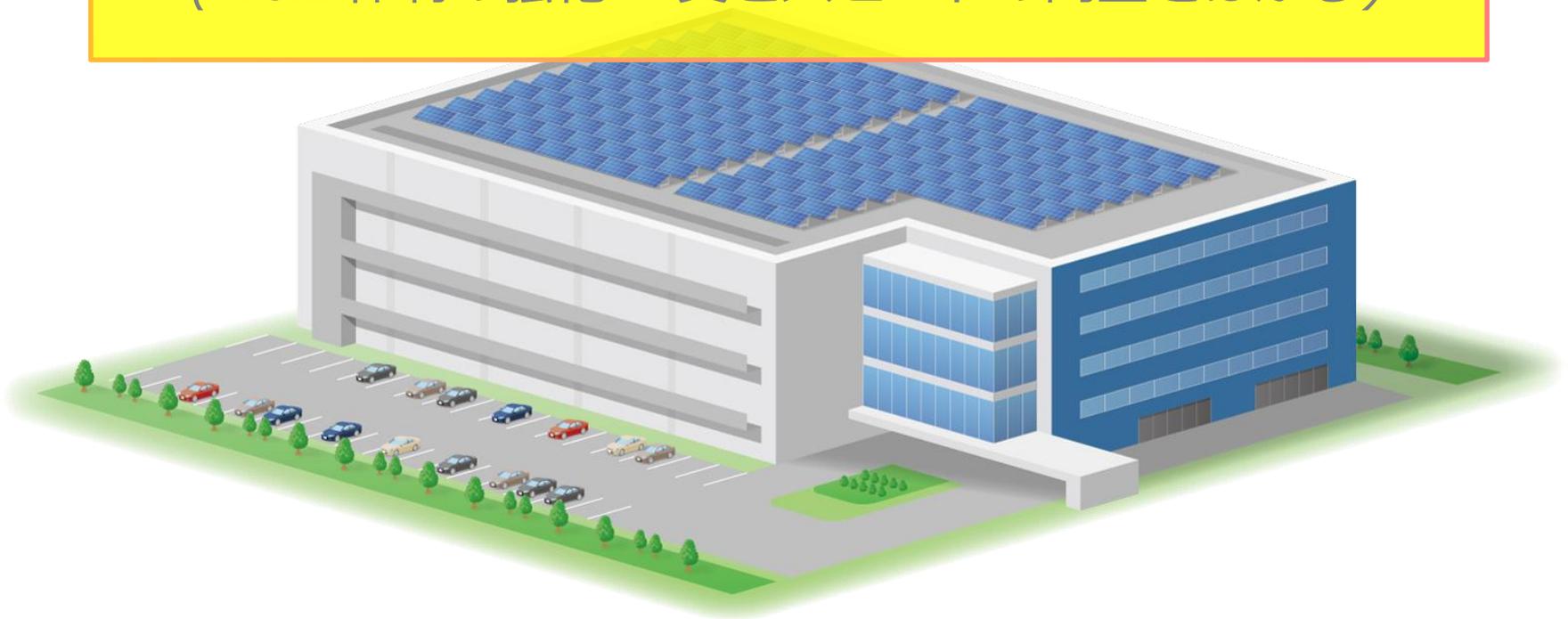


企画コンセプト・・・技術を見せる = 魅せる

中央研究所構想

鶴見・浜松 両研究所の統合検討

(R&D体制の強化 = 質とスピードの向上をはかる)





11年目を迎えるNKKは 次のステージへ



従来のK = 改善に加え
 新たに **K** = 開発 と 開拓 をテーマ化
 (新たなカテゴリーを設ける予定)

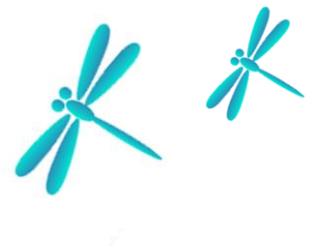


NKKはニチアスグループの固有文化へ

< 3 >

中期経営計画

キャピタル・アロケーション, 株主還元ほか



これまで

過去からの経験を踏まえ、万が一、不足の事態が生じても資金繰りに窮しない十分な備えをする
(… 従業員を路頭に迷わせない)

- ✓ コロナ禍においても、大きな業績低下を招くことはなかった
- ✓ 財務の健全化・強化が成されている (信用格付 A+ 安定的 取得)
- ✓ この数年で十分「稼げる体質」に変化することができている

これから

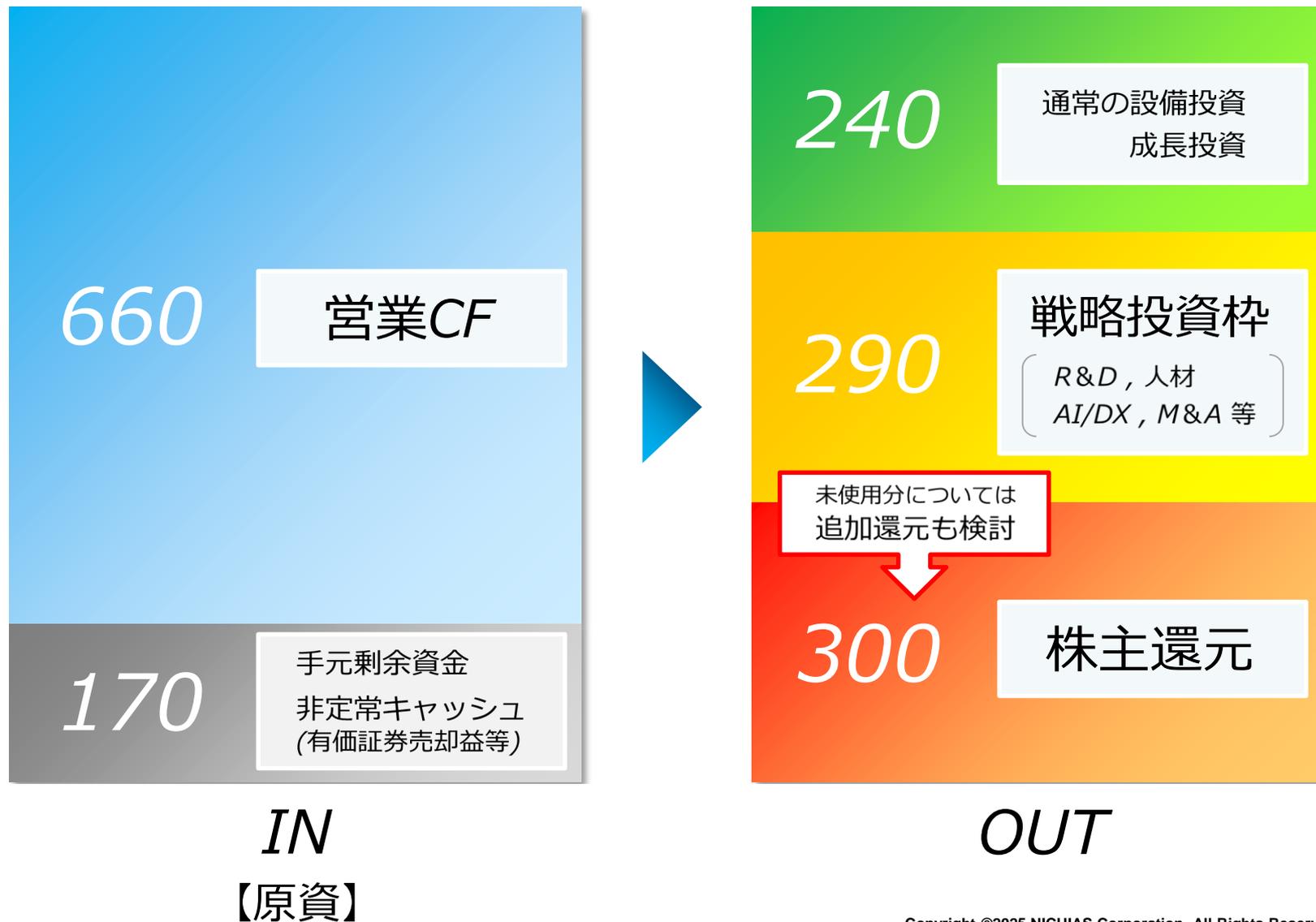
- 中長期的な視点で従来より (身の丈に応じた) 積極的・戦略的に成長に向け舵を切る
- 株価, 資本効率を意識した対応
- 株主還元の強化



◇ キャピタル・アロケーション

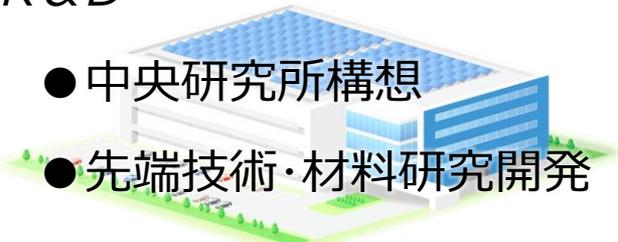
(2ndステージ累計：26/3期～27/3期の2カ年)

【金額】億円



戦略投資枠

290億円

人材	育成・制度改革	~50億円	経営 基盤
AI/DX	業務効率 経営判断・効率化		
M&A	 <ul style="list-style-type: none"> ● 成長分野へのM&Aやアライアンス 	50~ 200億円	戦略 事業
R&D	 <ul style="list-style-type: none"> ● 中央研究所構想 ● 先端技術・材料研究開発 	50~ 150億円	

戦略事業への投資 および 経営基盤強化に向けた投資 を推進

(2ndステージ方針)

総還元性向 50%以上

配当

今後も安定的な配当を継続します。
DOE5.0%以上, 累進配当を基本方針と
します。

自己株式 取得

配当とのバランスを鑑みた自己株式の
取得を実施します。

- ▶ キャピタル・アロケーションに記載の通り
戦略投資枠での未使用分については追加還元も検討します。
(自己資本比率を現状水準から高めないこととします)
- ▶ 自己株式の保有上限は発行済株式の10%内とし適宜消却します。

◇ 中長期的な財務目線 (イメージ)

26/3期

27/3期

28/3期

29/3期

30/3期

31/3期

32/3期

【現】中期経営計画
2nd ステージ

【次】中期経営計画
1st ステージ

同
2nd ステージ

← 2年間 →

← 3年間 →

← 2年間 →

✓ 自己資本比率
(目安)

70%台前半

65%

60%

これ以上
比率を増やさない

「投資」と「還元」の
バランスを加味したオペレーション

財務健全性や資金需要を見極めたうえで、財務レバレッジも活用

従来の考え方・体質から

変える

筋肉質な体質へ

変わる

■ コア事業、戦略事業、ノンコア事業を区分し、事業の選択と集中

コア事業

- プラント向け工事・販売
- 工業製品
- 高機能製品 (半導体関連製品)

戦略事業

成長分野

- 新エネルギー分野
- 電子部品分野
- 先進環境分野
- 未来モビリティ分野

関連セグメント

- …プラント向け工事・販売、工業製品
- …工業製品、高機能製品
- …工業製品
- …自動車部品

ノンコア事業

- 自動車部品 (内燃車関連製品)
- 建材

◇ セグメント別数値

(単位：億円)

セグメント		24/3期 実績	25/3期 実績	27/3期 イメージ	次期中計
core 事業	プラント向け 工事・販売	売上高 106 14.4%	735 125 15.9%	800 130 16.3%	3,000 以上
	工業製品	売上高 105 20.5%	512 111 20.8%	580 128 22.1%	
戦略 事業	高機能製品 (半導体関連製品)	売上高 96 22.5%	428 102 22.9%	550 135 24.5%	
	自動車部品	売上高 38 7.5%	501 45 8.9%	500 50 10.0%	
Non core 事業	建材	売上高 7 2.3%	317 14 4.8%	320 32 10.0%	
計		売上高 352 14.1%	2,494 397 15.5%	2,750 475 17.3%	



建設からメンテまで安全
安心の施工・製品を提供

■ 事業環境 (10~20年後)

政府のエネルギー政策に基づき、

- ・原子力の最大限活用
- ・アンモニア、水素を中心とした再生エネルギー事業が本格化
- ・カーボンニュートラルに対応した事業転換に付随する工事(火力・石化)

⇒工事案件は好況が継続するものと見込む



■ 戦略

- 原子力市場への提案と取込み (安全性向上)
- 再生エネルギー事業への本格参入 (新断熱工法)
- CN含む成長市場への新規取込み (工事・製品)

成長
課題

- ◆ 原子力/安全性向上工事のスペックイン活動
- ◆ 液化水素向け断熱・シール技術の開発
- ◆ 省エネ事業(Thermofit®)の推進
- ◆ CN案件の情報収集と戦略受注



POINT
オリジナル機器とアプリで実現!



POINT
長年の技術とノウハウで実現!



省エネ診断システム Thermofit®



国内外の幅広い産業へ
「断つ・保つ」の製品を提供

■ 事業環境（10～20年後）

環境変化は激しいものの、

- 環境関連製品の需要拡大
- CNに連動した省エネ事業の拡大
- 電子部品分野の安定成長
- 海外市場の長期的拡大

⇒成長市場および基盤事業の堅調な事業
拡大に伴い、長期的に安定な成長を見込む



■ 戦略

- 有望成長市場への積極投資（国内外）
- 高付加価値製品の先行開発（環境・電子）
- 次世代事業の創出と促進

成長 課題

- ◆ 環境関連製品のグローバル拡販
- ◆ 次世代通信向け機能製品の量産化と拡販
- ◆ 機能別シール材の開発（高付加価値製品）
- ◆ 脱炭素分野における新規開発（水電解装置、高圧直流送電、CCSなど）



半導体分野において
高機能製品を提供

■ 事業環境（10～20年後）

AI向けGPUやカスタムチップの需要が爆発的に増加していく事を背景に、



- ・ 技術革新による高速化、低消費電力化の促進
 - ・ 供給網の再構築（新たな市場創出）
 - ・ 新興勢力の台頭（ASEAN・インド市場）
 - ・ 脱炭素達成に向けたグリーン・ファブ投資拡大
- ⇒長期的な安定成長を見込む（1兆ドル市場へ）

■ 戦略

- 市況の変動に追従できる生産体制構築（国内外）
- 先取の技術開発により差別化製品の創出
- 新たな用途・顧客の開拓

成長 課題

- ◆ 生産能力増強（戦略製品のグローバル生産拠点確立）
- ◆ 先端分野におけるトータルソリューションと差別化製品の開発
- ◆ 環境負荷低減に貢献する高付加価値製品の開発（省エネ製品）
- ◆ 既存顧客の深掘りおよび新たな顧客開拓による拡販



自動車分野において漏れ・熱・音を「断つ」製品を提供

■ 事業環境 (10~20年後)

次世代車(EV)が主流となると共に、あらゆるモビリティ事業が本格化し、



- ・電動化の加速 (バッテリー技術・熱マネジメント)
- ・安全、軽量化、音に関するニーズの高度化
- ・新興市場の成長 (インド市場)
- ・コネクテッドカーとデジタルサービス

⇒業界再編が進みながらも有望市場として見込む

■ 戦略



- 収益改善 (事業再編・生産集約)
- 成長分野への資源集中 (次世代車向け開発加速)
- カーボンニュートラル対応 (開発・生産)

成長課題

- ◆ 内燃機関車向け事業の最適化(事業再編・生産集約)
- ◆ 次世代車市場への差別化製品の開発
- ◆ 新興市場への事業拡大 (インド市場)
- ◆ 地政学リスクおよび環境規制への適切な対応



自動車用樹脂製品



建設からメンテまで安全
安心の施工・製品の提供

■ 事業環境（10～20年後）

人口減少に伴い国内の需要は減少傾向
持続可能性や省エネ性能の向上から、



- ・市場規模縮小による事業再編（国内）
- ・グリーン製品、省エネ製品による脱炭素社会へ
- ・施工人工の減少から自動化とロボティクス利用
- ・海外市場は人口増加に伴い拡大

⇒成熟市場として、事業性を見極める

■ 戦略

- 収益改善（事業再編・生産集約・資本コスト改善）
- 高付加価値（環境配慮型）製品の開発・拡販
- 社内外とのシナジーによる新規事業の創出

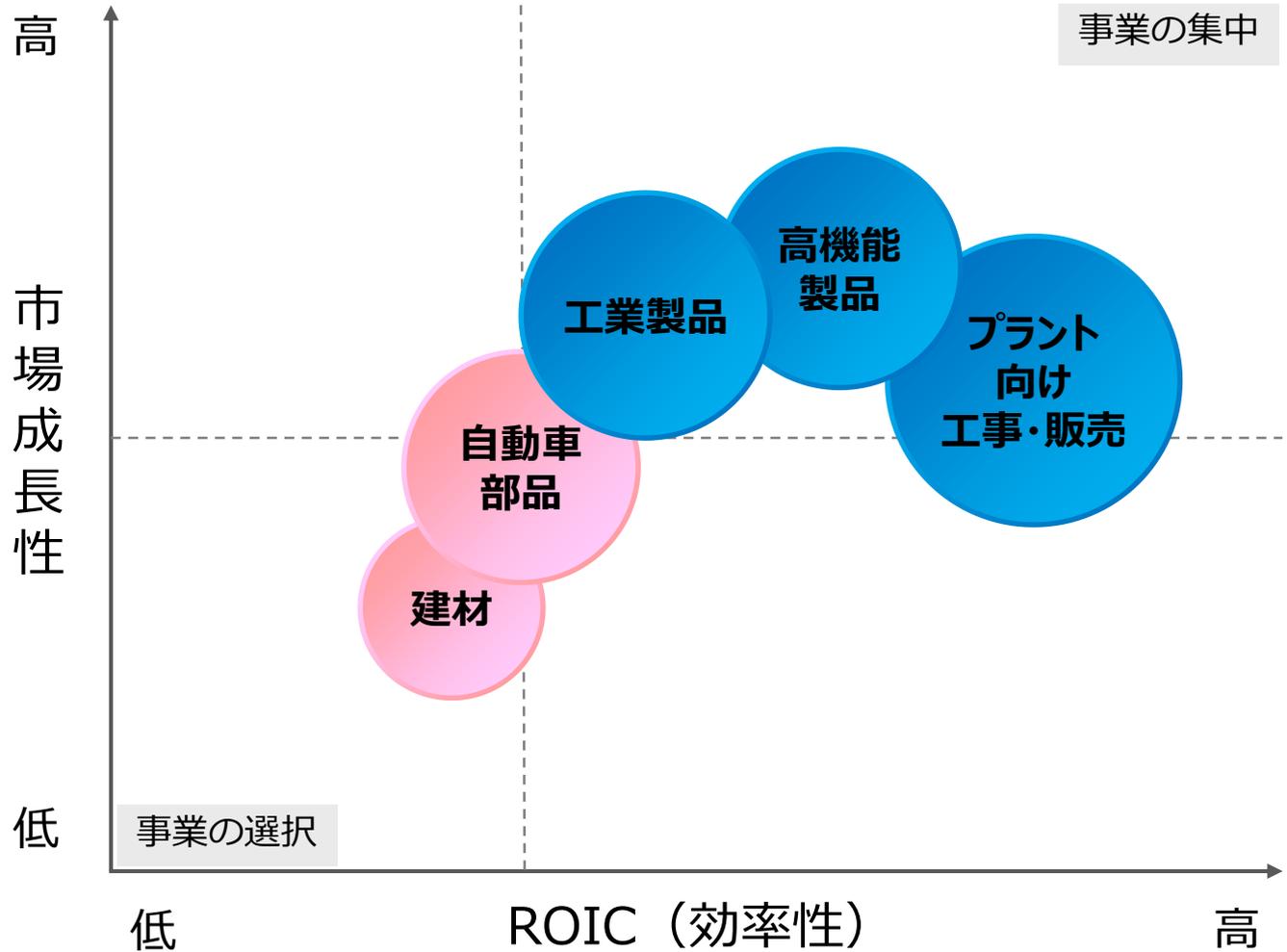
成長 課題

- ◆ フロア製品の海外増産と市場機会の拡大
- ◆ 物流課題の推進
- ◆ 巻付け耐火被覆材の新規用途への拡販
- ◆ オープンイノベーションを活用した新製品開発



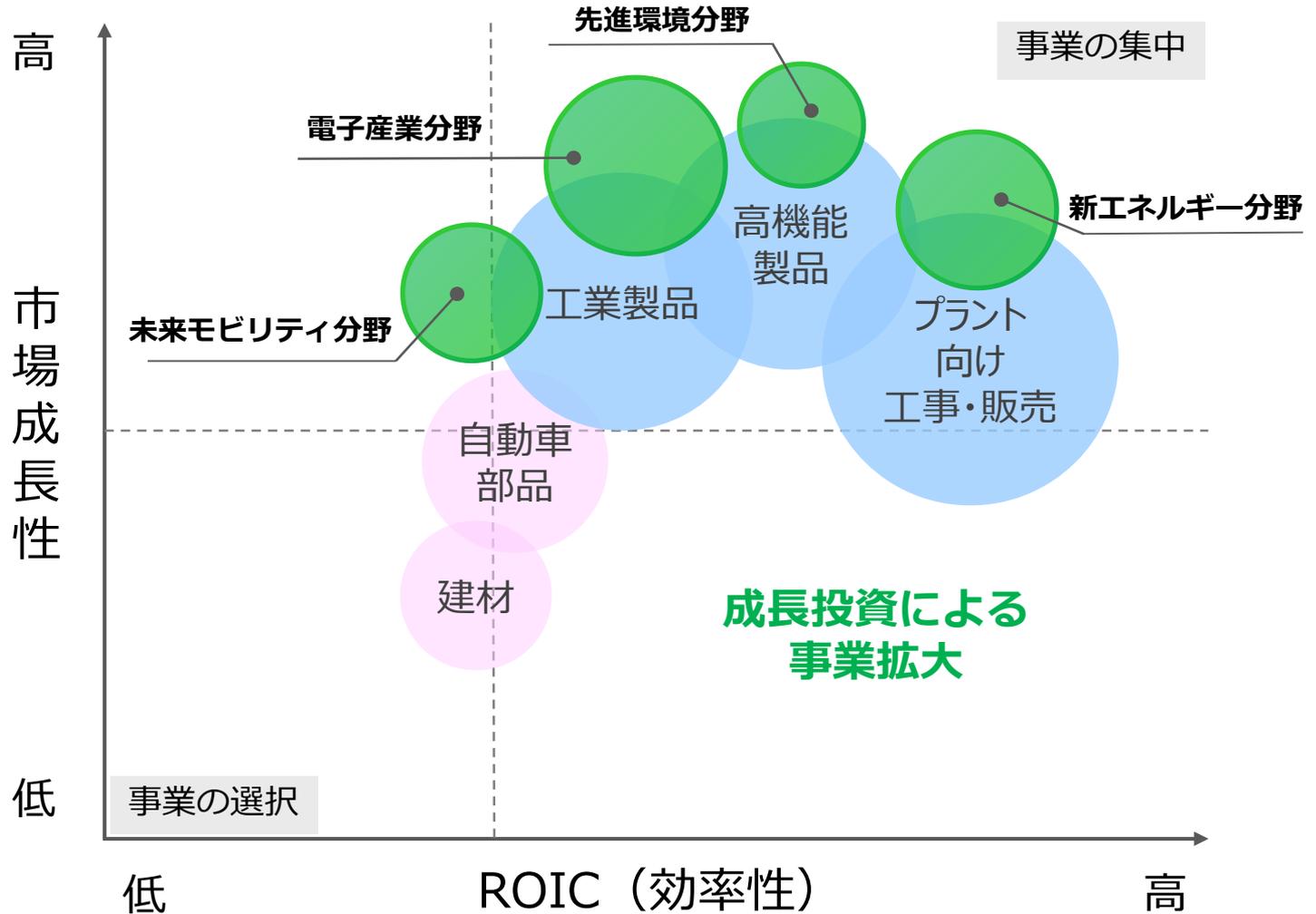
巻付け耐火被覆材

※円の大きさは売上高規模



- コア事業
- 戦略事業
- ノンコア事業

※円の大きさは売上高規模



- コア事業
- 戦略事業
- ノンコア事業

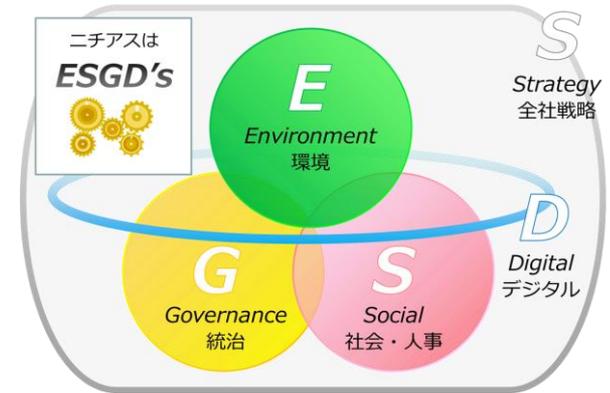
◇ セグメント別ROIC

セグメント		24/3期 実績	25/3期 実績	27/3期 イメージ	課題
core 事業	プラント向け 工事・販売	25.1%	27.0%	27%	 売上債権回転期間の短縮
	工業製品	15.7%	14.7%	18%	 売上債権回転期間の短縮  棚卸資産の圧縮
戦略 事業	高機能製品 (半導体関連製品)	24.6%	22.7%	25%	 営業利益率の更なる向上  棚卸資産回転期間の短縮
	自動車部品	8.6%	10.2%	12%	 原価低減  棚卸資産の最適化
Non core 事業	建材	3.0%	5.8%	8%	 販管費, 物流費の削減  棚卸資産回転期間の短縮

各セグメントとも「CCC」の改善を進める必要あり

■ サステナビリティ方針

ニチアスグループは企業理念の実践を通してグループの持続的な成長と持続可能な社会の実現を目指します



サステナビリティ推進委員会



当社グループが対面するさまざまな課題を設定し、施策を進めています

■ CDPスコア – 「A格」取得に向けて

【2023年度GHG排出量実績】



【GHG排出量削減目標】

自社のGHG排出量 (Scope1,2) 当初の目標を前倒し達成のため、2024年4月改訂

2030年度目標 : 排出量 **42% 削減** (2021年度比)

2050年度目標 : 実質ゼロ (カーボンニュートラル)

バリューチェーンにおける上流・下流のGHG排出量 (Scope3)

2030年度目標 : 排出量 **25% 削減** (2021年度比)

【主な削減の取組み】

- ・ 高炭素排出製品の低炭素化
- ・ 省エネの徹底
- ・ 再エネ推進 (太陽光、オフサイトPPA)
- ・ 原料、製品リサイクルの促進
- ・ Scope3下流関連製品の更なる省エネ化

【A格取得に向けた必要要件】

SBT認定取得

2030年までのGHG排出量削減目標について、2025年3月にSBT認定を取得しました



APPROVED

NEAR-TERM SCIENCE-BASED TARGETS

SBTI Services has validated that the science-based greenhouse gas emissions reductions target(s) submitted by NICHIAS Corporation conform with the SBTI Standards and Guidance (Criteria version 5.2).

SBTI Services has classified your company's scope 1 and 2 target ambition in conformance with the SBTI Standards and Guidance

The official near-term science-based target language:

NICHIAS Corporation commits to reduce absolute scope 1 and 2 GHG emissions 42% by FY2030 from a FY2021 base year. NICHIAS Corporation also commits to reduce absolute scope 3 GHG emissions from purchased goods and services, fuel and energy-related activities, and use of sold products 25% within the same timeframe.

⇒ 加えて、GHG排出量の第3者検証も実施

※ このほか「環境インセンティブ (報酬連動) 制度」も検討

■ 自然との共生について

ニチアスの生物多様性の保全

「トンボを守るプロジェクト」始動!

◎ 地域生物多様性増進法

(2025年4月施工)



- ・敷地内ビオトープの完成
- ・「トンボはどこまで飛ぶかフォーラム」入会

王寺工場



陽楽の森

王寺町と連携した里山づくり
(4/12 奈良セブンの森 保全活動に参加)



- ・自然保護団体「桶ヶ谷沼を考える会」入会

- 生物多様性の保全活動の拡大
- 自然共生サイト(環境省)の認定に向けた取組み

より深く広く社員の声を拾い上げ、会社と社員の信頼度アップを目的に「エンゲージメントサーベイ」を実施

【サーベイ方法】

- ◆ 14カテゴリー、69の設問に回答
- ◆ 各設問は6段階で評価

【サーベイ結果】

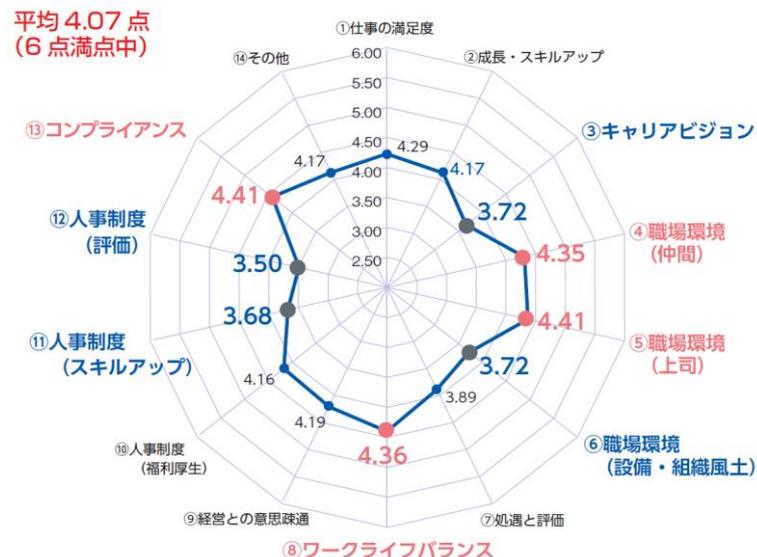
- ◆ 各カテゴリー6点満点中、**平均4.07**

▶ 高評価項目

- ・コンプライアンス
- ・職場環境 (上司)
- ・ワークライフバランス
- ・職場環境 (仲間)

▶ 低評価項目

- ・人事制度 (評価)
- ・人事制度 (スキルアップ)
- ・キャリアビジョン
- ・職場環境 (設備・組織風土)



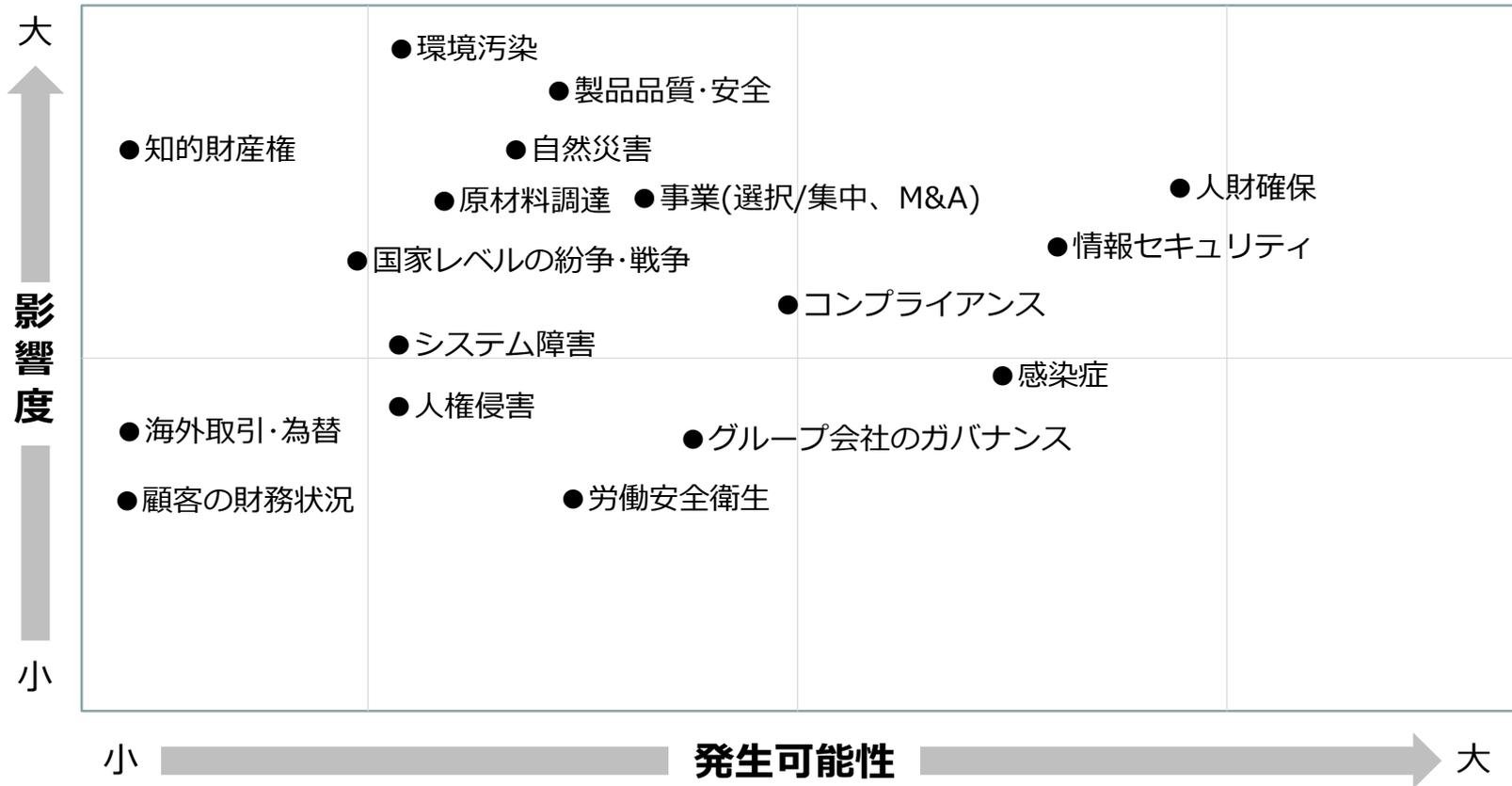
【改善に向けた対応】

- ◆ 人事制度関連
- ◆ キャリアビジョン
- ◆ 職場環境

⇒ 「学び」の機会を提供・支援、 制度のリニューアル
 ⇒ モデルケース・キャリア紹介、 座談会や相談窓口の開設
 ⇒ 働きやすい職場づくり、 働きがいのある組織風土

★ 上記のエンゲージメントサーベイは「ニチアス幸せ価値指数」における従業員評価と連動

企業価値の安定的及び継続的な向上のため、
組織全体のリスクマネジメントのリスク評価と対応方針の明確化



「断つ・保つ」で明るい未来へ

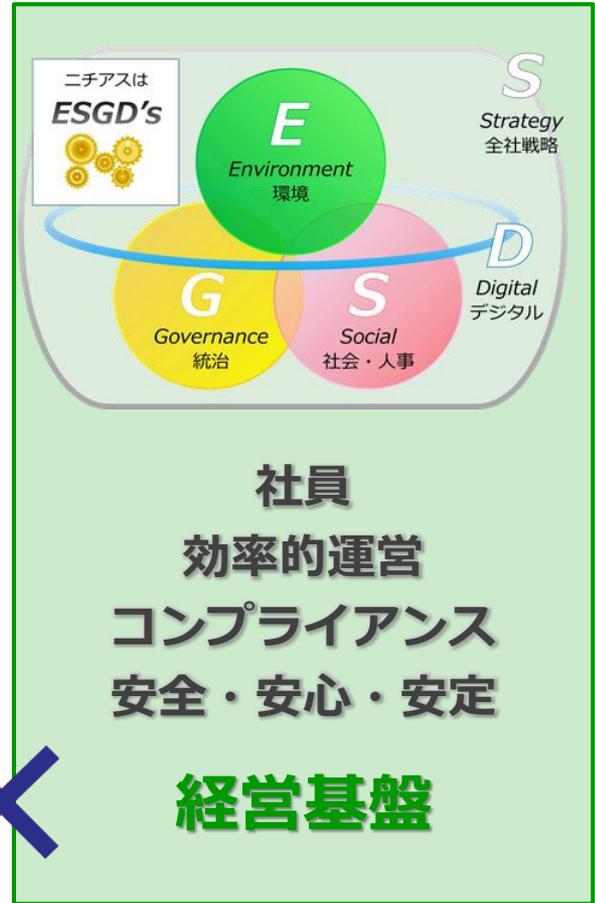


新エネルギー分野
 電子部品分野
 先進環境分野
 未来モビリティ分野

成長分野



コア技術



社員
 効率的運営
 コンプライアンス
 安全・安心・安定

経営基盤

ニチアス理念

ニチアスは、
「断つ・保つ」の技術で
地球の明るい未来に貢献します。

私たちの約束

仲間とともに、社会に役立つ価値を提供します。

社会の一員であることを自覚し、
責任ある行動を取ります。

「ありがとう」と
「笑顔」があふれる信頼の輪を築きます。

スキルや知識を高め、
従業員と会社がともに成長します。

「断つ・保つ」で
明るい未来へ

